



# 声のバス

## 声

富丘中学校の分離校を建てると広報ちとせにありました。

しかし、市内の子どもの数は増えることなく、むしろたくさん学校の児童数が減っていると聞いています。

なぜ新しく学校を建てる必要があるのでしょうか。スクールバスを運行したり、通学区を見直すことで対応できるのではないのでしょうか？

## 答

全国的に少子化が進んでいる中、全道一若いまち千歳でも小中学校の児童生徒数は、ゆるやかに減少しています。

しかし、市内では児童生徒数が増加している地域もあります。

住宅地の造成が活発に行われている地域を学区に抱えている富丘中は、平成20年5月の時点で、生徒数は899人、学級数は25クラスと全道一の大規模校となっています。今後も住宅地の造成が進むことで学校の施設規模を上回る生徒数となることが予想され、その解消が大きな課題となっています。

富丘中では、これまでも音楽室や図書室などの特別教室を普通教室に転用し、さらに平成19年度にはプレハブ校舎を増築し、一時的ではありまが不足教室の解消を行って教育環境の維持・改善に努めてきました。

富丘中は、今後も生徒数の増加が見込まれます。これまでも市は、校舎の増築や校区の見直し、分離校の新設などさまざまな対応策を検討してきました。

その結果、

# 市内で新しく学校を建てる必要はないのでは？

《40歳代女性》

○富丘中の敷地にはこれ以上校舎を増築する余裕がないこと

○校区の見直しやスクールバスの導入により生徒を分散することは、ほかの中学校との校区の境が富丘中付近になるため、一部の生徒は、目の前に富丘中があるにも関わらず、遠い中学校へ通うことになること

の理由から、分離校の新設がもつとも適切と判断しました。なお、市内全体では今後も児童生徒数の減少が予想されまが、小規模校では、児童生徒数の推移や地理的条件、通学区などを踏まえ、将来的には統合を含めて検討していくことが必要と考えています。

【教育委員会企画総務課企画係 富240845】



平成19年に増築した富丘中のプレハブ校舎

## 【ワンポイントメモ】

市は、学校や保護者、地域の代表で構成する「富丘中学校分離校基本構想検討会議」から「目指す学校の姿」という報告書の提出を受け、平成24年4月の分離校開校に向けて、基本構想の策定作業を進めています。この報告書は、市のホームページでご覧になれます。

## 案内

「声のラン」では、おもに「市長への手紙・ポスト」や「広報広聴モニター」の声と、その答えをご紹介します。そのほか皆さんからの一般的な質問などもご紹介しますので、普段から疑問に思っていることなどを、お手紙などでお寄せください。ただし、ほかの市民にも参考になる内容を採用させていただくため、個人的なことなどを掲載することはできません。また、質問の内容を確認する必要上、お手紙には必ず連絡先と名前をご記入ください。【〒066-8636 / 千歳市東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課 宛】